



日本医療マネジメント学会 News Letter

第29号

2007年12月1日発行

発行 日本医療マネジメント学会事務局

〒862-0901 熊本市東町4-11-1

国際保健医療交流センター内

TEL 096-360-9099 FAX 096-367-9001

E-mail kensyu@silver.ocn.ne.jp

URL <http://jhm.umin.jp/index.html>

第10回日本医療マネジメント学会学術総会開催のお知らせ(第2報)

安全・安心・信頼の医療 ～未来につづく地域医療連携～



第10回 日本医療マネジメント学会 学術総会会長 稲垣 春夫 (トヨタ記念病院 病院長)

このたび2008年6月20日(金)、21日(土)の2日間にわたり、第10回日本医療マネジメント学会学術総会を名古屋市において開催させていただきます。大変光栄と感謝申し上げますと同時に、会員の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

本学会は発足以来順調に発展してきており、直近の学会員数は5,000名に達し、この数年の学術総会参加人数は4,000名前後、応募演題数は500題を超えています。本学会の主旨はクリティカルパスを基盤として医療の質を向上させるためのあらゆる取り組みを会員の皆様が相互に発表し、学習していただくことにあると考えています。またその内容も、クリティカルパスを中心として医療安全、院内感染対策、臨床指標、地域医療連携、患者満足度向上、人材育成、医療経営というように極めて多岐にわたります。

2008年度からは、昨年改正された医療法のもと、4疾病5事業を核とした新たな地域医療計画が施行され、特定検診、後期高齢者医療保険の新設、保険者の統合等々、これまでになかった医療の仕組みが開始されようとしています。しかしながら、それに対応すべき医療の現場は、病院における医師、看護師の偏在あるいは絶対数の不足によって疲弊をきたし、医療崩壊なる言葉さえ現実のものになりつつあります。

第10回日本医療マネジメント学会学術総会は、「安全・安心・信頼の医療 ～未来につづく地域医療連携～」をテーマとしています。本学術総会において医療に携わるすべての人たちが一堂に会し、お互いの抱える問題を学習することが、このような閉塞状態から日本の医療界を抜け出させる一助となることを会長として期待し、たくさんの方々のご参加、ご発表をお願い致します。

テ - マ: 安全・安心・信頼の医療～未来につづく地域医療連携～
会 期: 2008年6月20日(金)・21日(土)
会 場: 名古屋国際会議場
(〒456-0036 愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-1 TEL:052-683-7711)
後 援: 愛知県医師会 / 愛知県病院協会 / 愛知県看護協会 / 愛知県病院薬剤師会

演題登録受付期間: 2008年1月10日(木)～2月21日(木) 午前11時 ※予定

事前参加登録受付期間: 2008年1月7日(月)～5月1日(木) 当日消印有効

事務局: トヨタ記念病院

〒471-8513 愛知県豊田市平和町1-1

E-mail: ya-tmh@mail.toyota.co.jp

運営事務局: 株式会社ジェイコム コンベンション事業本部内

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENT11階

TEL:06-6348-1391(代) FAX:06-6456-4105

E-mail: 10jhm@jtbc.com.co.jp

第10回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ
<http://10jhm.jtbc.com.co.jp>

プログラム(予定)

- ◆ 基調講演 日本医療マネジメント学会理事長 宮崎 久義
- ◆ 会長講演 トヨタ記念病院病院長 稲垣 春夫
- ◆ 特別講演 「これからの医療制度のあり方」(仮題) 厚生労働省
- ◆ 招待講演
 - 1 「ホスピスケアとユーモア」
金城学院大学学長 柏木 哲夫
 - 2 「トヨタウェイトヨタ生産方式の本質と進化(深化)」(仮題)
トヨタ自動車株式会社技監 林 南八
 - 3 「看護、介護の現場におけるパートナーロボット活用の未来(市民公開講座)」(仮題)
トヨタ自動車株式会社パートナーロボット開発部部长 高木 宗谷
- ◆ シンポジウム
 - 1 「医療安全」
 - 2 「地域医療連携クリティカルパス」
 - 3 「DPC」

- 4 「地域連携ネットワーク」
 - 5 「マネジメント人材育成と医療の質」
 - 6 「予防医療と医療適正化」
 - 7 「ガン治療連携」
- ◆ パネルディスカッション
 - 1 「電子化とクリティカルパス」(仮題)
 - 2 「未来につづく地域医療連携」(仮題)
 - ◆ クリティカルパス教育セミナー
 - 1 「クリティカルパスの作成と進化」(仮題)
 - 2 「クリティカルパスの院内普及」(仮題)
 - 3 「クリティカルパスと記録(看護記録)」(仮題)
 - ◆ フリートークセッション
「日本語を使った看護」(仮題)
 - ◆ 一般演題(口演・ポスター) ※公募
 - ◆ クリティカルパス展示 ※公募
 - ◆ ランチョンセミナー